

本郷中学校 3 年生 模擬裁判員裁判

1 実施概要

(1) 法や裁判に関心のある本郷中学校 3 年生有志 29 名が、2011 年 9 月 24 日國學院大學法廷教室を使用し、模擬裁判員裁判を実施しました

学校名：本郷中学校

参加学生：中学校 3 年生有志（29 名）

チーム別人数：裁判官チーム（15 名）検察官チーム（7 名）弁護人チーム（7 名）

事件内容：被告人前川大二郎が、平成 20 年 2 月 3 日 2 時ごろ自宅において、母親である前川キミに対し、その腰部を足蹴し転倒させ死亡させた事案。

(2) 模擬裁判員裁判実施までの流れ

① 導入授業（2011 年 7 月 23 日（土）8:30～10:30）本郷中学校

↓

② 事前準備（2011 年 9 月 22 日（木）15:30～17:30）本郷中学校

↓

③ 模擬裁判員裁判（2011 年 9 月 24 日（土）14:00～16:30）國學院大學法廷教室

2 導入授業

- ・1 限目は、LP 代表理事今井が、裁判員裁判をテーマに対話形式での授業を実施。
- ・2 限目は、担当するチームに分かれて、証人尋問・被告人質問の質問作成。

3 事前準備

- ・参加予定者全員集まり、事務連絡。
- ・検察官チーム・弁護人チームは質問作成。

4 模擬裁判員裁判実施

(1) 法廷の様子



國學院大學法廷教室を利用。

裁判官・裁判員（裁判長を除く）、検察官、弁護人役は学生が行う。
その他、裁判長、被告人、証人、書記官、廷吏、押送係はリーガルパークスタッフが行う（うち弁護士 3 名）。

(2) 裁判の流れ

①冒頭手続き

人定質問→起訴状朗読→権利告知→罪状認否

②証人尋問

検察側証人（前川信一郎）

弁護側証人（花村恵子）



起訴状朗読場面

③被告人質問（前川大二郎）

④論告・弁論

⑤判決言い渡し

（３）裁判の様子

裁判冒頭は、法廷の雰囲気緊張している様子であったが、裁判が進むにつれて白熱していった。

※ 質問抜粋

（検：花村恵子証人尋問）

「先ほどから花村さんは大ちゃんがいい息子だと仰っていますが、そのいい息子が、理想の息子像がこのような事件を起こしたことに何か感じることはありますか？」

（弁：被告人質問）

「今回はお前がのろのろしているからだといわれたと、その前にいつもありがとうとか言ってくれたことはあるんですか？」

（４）判決

裁判体Aチーム：懲役3年執行猶予3年 保護観察付

裁判体Bチーム：懲役3年執行猶予5年



裁判中の様子

5 授業を振り返って

（１）生徒の感想（一部抜粋）

- ・被告人にも被害者にも不公平にならないように罪を決めるのは想像以上に難しかった。（裁）
- ・裁判はまさしく正義を決める場所で僕には関係ないという考えは間違いだったと思う。（弁）
- ・自分の意見を踏まえて、他人と議論することで、別の視点からも考えることができてよかった。（裁）

（２）講評

- ・証人尋問、被告人質問、評議いずれにおいても、生徒がとても積極的に参加してくれた。
- ・証人尋問、被告人質問では生徒たちの考える能力を引き出せていた。
- ・考える力を引き出した要因としては、証人役等を第三者にしたこと、法廷教室の雰囲気、身近に考えられる事件であったことが挙げられる。

6 生徒からの質問

- ・裁判はいつから始まったのか？
- ・何日間にわたって審議するのか？
- ・実際の被告人尋問の時間はどのくらいなのか？
- ・冤罪の人はどれくらいいるのか？
- ・刑罰について特に知りたい。

そのほかにも多数。



集合写真

7 本郷中学校では模擬裁判を経験し、『法学研究部』が創設されました。

今後リーガルパークでは、『法学研究部』をサポートしていきます。

また、本郷中学校の模擬裁判の様子を収めたDVDを付録にした「実録！模擬裁判」（仮）も2月下旬に発刊予定です。